

株式会社平井料理システム「仏生山の森」

「第30回 全国花のまちづくりコンクール」

花のまちづくり大賞(農林水産大臣賞)を受賞

この度、株式会社平井料理システム(本社:香川県高松市塩屋町 5-4、代表取締役:平井 利彦)が運営する 仏生山の森」が、第 30 回全国花のまちづくりコンクールにて、最高賞の「花のまちづくり大賞(農林水産大臣賞)を受賞いたしました。

■「全国花のまちづくりコンクール」とは

全国花のまちづくりコンクールは、花のまちづくりを国民的な市民運動として普及、定着させるために、全国各地で取り組まれている花や緑による優秀な活動を顕彰し、広く紹介するために「全国花のまちづくりコンクール」が、大阪花博開催の翌年である平成3(1991)年から始まりました。

公式HP:http://www.hananokai.or.jp/city/







■「仏生山の森」から始まる地域活性と住民との交流

(株)平井料理システムは昭和59年創業、居酒屋、レストラン等を中心に運営してきた飲食サービス業です。 創業から35年目に、香川県高松市郊外にある仏生山地区の住宅地の中にレストランを開業することになり、 隣接する庭園、レストランで使用する野菜、果実、ハーブ類などを栽培する農園や季節ごとの花畑(夏:ひまわり、秋:コスモス、春:菜の花)を合わせた周囲一円を「仏生山の森」と名付け、長年の念願であった「食」と「緑」 の融合による、人々の憩いの空間を創出するために、花のまちづくりを始めました。







庭園や農園で収穫した作物を取り入れた食を通じて緑に触れることを中核に、県産品の普及活動のための 県主催イベントへの会場提供、庭園の草木や花を通じた周辺住民及び病院、デイケアセンター、保育所などの 利用者との交流を積極的に図っています。

毎年恒例の「ひまわり祭り」などのイベントによって、より広範の地域の人たちへの仏生山地区の魅力を発信するなど、花と緑をツールとして、地域の人たちに癒しを提供し、流動人口を増加させ、地域をより活性化させてゆくことを目指しています。





■「100 年続く庭づくり」への取り組み

「仏生山の森」は、草抜きや清掃を行うレストランのスタッフに加え、庭園管理担当、農園管理担当のスタッフを置いて『100年続く庭』をスローガンに運営しております。

当施設では、一年を通して美しさ、豊かさを感じられる植物選びと植栽を心がけています。19,000 ㎡に渡る広大な土地を活かし、庭園の見せる四季折々の表情の豊かさ、野菜が整然と育てられている農園の美しさ、そして季節ごとの花畑の華やかさは、訪れる人たちの目を喜ばせ、心を満たします。

庭園の外縁部やレストランのエントランスには、散歩に訪れる地域の人たちに楽しんでいただくための植栽 を施し、緑の空間が周りの地域から遊離しないよう、周辺景観との連続性にも留意しています。

また、四国という暖地での生育に適さない植物は採り入れず、植物の組み合わせに留意することで農薬使用を極力抑え、園芸及び農業残渣を堆肥化して物質循環を促し、生物の生育しやすい水辺を設けるなど、環境への負荷を低減しました。

水不足に悩んできた歴史のある香川県では、庭園や農園の水の確保は大きな課題です。井戸水の利用や排水力と保水力をもった土壌づくりの工夫で対処しております。







■「仏生山の森」の今後の展開

仏生山地区の景観が緑豊かな美しいものへと変化してきたことによって、人々との交流が格段に増えてきています。この緑を通して、地域の人たち、各種施設の利用者、レストランのお客様と私共の間で、気軽にあいさつを交わし、コミュニケーションを図れる関係ができつつあります。そして「高松の仏生山には、お花のきれいなところがある。」という評判が広まり、県外からの来訪者も数多くみられます。

レストランのスタッフの一日は新鮮な野菜やハーブの収穫から始まります。庭園に咲く花のジャム作りや、エデイブルフラワーをふんだんに使った華やかな料理を作るなど、自然の息吹を感じながら料理が提供できることは、仏生山の森で働くスタッフの心の充実にも繋がっております。

今後は、植物を中心とした環境教育イベントの開催、農園で収穫した野菜を用いた料理教室による食育活動の実施などの文化的活動の取り組みや、収穫された作物を使った加工食品の開発をしていき、「食」と「緑」の複合施設としての「仏生山の森」の認知度を上げ、さらに多くのお客様にご来場いただけるよう取り組んでまいります。







■「仏生山の森」施設概要

・施設名 仏生山の森

·場所 高松市仏生山町甲 884-2

·電話 087-899-8886

·営業時間 11:00~15:00

17:00~21:00

・アクセス ことでん琴平線、仏生山駅より徒歩6分

· 駐車場 最大 70 台

•HP https://busshozan-no-mori.com/